

キャリア教育・進路指導のおさえ（I 類型 12年間のあゆみ）

キャリア教育のおさえ： ①身辺自立を確実に ②挨拶、返事、報告を自分から率先して ③自分の障害を受容し、できること・できないことを理解して進路を考える ④得意なことを自ら学び、磨く（自信を持ってできるスキルの獲得）
 （進路指導も含む） ⑤異世代の人との交流を積極的に行い、コミュニケーション能力を高める ⑥外出の機会を増やし、社会経験を積む ⑦PCなど机上でできる実用的なスキルの向上 ⑧趣味を持ち、楽しむ

令和6年 3月改訂
 静岡県立西部特別支援学校

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3		
キャリア教育	進路指導 (家庭)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事業所見学 ・学校や家庭以外で外部の人と触れ合う機会を持つ（放デイなど） ・家族の支援体制の確認（利用できる資源の確認） ・学校との連携（進路相談、質問等） 卒業後の生活について考える（家庭で話し合って進路希望調査カードの記入をする） 							【卒業後の進路先】 <ul style="list-style-type: none"> 高等部進学 →本人の実態に合った類型選択 福祉施設利用→相談支援事業所と連携し、利用先を具体的に決める 			<ul style="list-style-type: none"> サービス利用と家庭生活が成立するか確認 産業現場等における実習 具体的な進路先の選定 相談支援事業所との連携 			
	健康	生活のリズムを作り、健康な体づくりに努める <ul style="list-style-type: none"> 自分の体調が分かり、体を動かしたり休んだりする。 							自分の健康管理に努める <ul style="list-style-type: none"> 食事や休息を取り、健康維持に努める。 自分で体を伸ばしたり体位変換して体のケアをする。 			自己の健康管理と保持増進に努める <ul style="list-style-type: none"> 自己の体調を分析し、休憩しながら活動をしたり、体力づくりをしたりする。 			
	学習	学習習慣を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 教科書の基本内容を理解する。 教師を見て話を聞く、分からないことは質問するなど基本的な学習スキルを身に付ける。 							主体的に学習に取り組み、基礎学力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 自分で興味のあることを調べたり課題に取り組んだりする。 必要なことをメモし、復習等に生かす。 						<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の基礎的な内容を身に付ける。
	障害理解	障害を理解する（自分のからだを知る） <ul style="list-style-type: none"> 平熱や適切な食量等自分の基本的な体調を知る。 困ったことやできないことを人に依頼する。 							障害を受容する（できること・できないことを知る） <ul style="list-style-type: none"> 自分でできること、依頼すべきことを区別する。 必要な支援を依頼することができる。 			自己理解をした上で、自分の生き方について考える力を養う <ul style="list-style-type: none"> 自立活動で自身の障害に応じて将来の生活に必要なことを考え、改善していく。 			
	生活習慣	基本的な生活習慣の確立を図る <ul style="list-style-type: none"> 手洗い、歯磨き、排せつ等自分でできることに取り組む。 学校の準備を自分で行う。 							基本的な生活習慣の定着を図る <ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで挨拶したり、必要なことを依頼したりする。 TP0をわきまえた言葉遣い、時間を意識した行動をする。 			生活習慣の定着及び社会生活に必要な力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 自立活動や総合的な探究の時間、職業と社会生活で卒業後の進路や生活を考え、自身に必要な力を分析し、改善していく。 			
	コミュニケーション	自分を表現する力やコミュニケーション力を習得する <ul style="list-style-type: none"> 誰にでも挨拶ができる。 自分の気持ちを伝えたり相手の意見を聞いたりする。 							コミュニケーションの幅を広げ、友達と協力して活動する力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> TP0をわきまえた言葉遣いや態度を身に付ける。 役割分担し、個の良さを発揮して協働活動する。 			場に応じてコミュニケーションする力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 日常生活での介助依頼や職業と社会生活での教員への報告等で、正しい言葉遣いを身に付ける。 			
	自主性	積極的に物事に取り組む力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 学習に粘り強く取り組む。 児童会活動に取り組む。 							自主性、問題解決能力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことを自分で行い、必要に応じて支援を依頼する。 分からないことは質問したり調べたりして解決する。 			自己決定力、自己選択力、問題解決能力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 日常生活での介助依頼や職業と社会生活等で卒業後の進路や卒業後の生活を考え、自身に必要な力を分析し、改善していく。 			
	役割はたらくこと	家庭での手伝いや、学校での当番活動を行う <ul style="list-style-type: none"> 家庭でできることを見つけたり、学校で係の仕事を行ったりする。 							自分の役割を果たすとともに、様々な職業があることを理解する <ul style="list-style-type: none"> 自分の役割に責任を持ち、最後まで取り組む。 職業・社会体験や進路学習を通して自身の進路を考える。 			自分の役割を果たすとともに、職業及び働くことの意義を理解する <ul style="list-style-type: none"> 職業と社会生活の授業を通して作業能力や対人コミュニケーションの力を身に付ける。 			
	楽しみ (趣味)	好きなことを見つける <ul style="list-style-type: none"> 自分から好きなことに取り組む。 友達と遊ぶことでいろいろなことに興味を持つ。 							好きなことを増やし、興味関心の幅を広げる <ul style="list-style-type: none"> 授業等に進んで関わり、興味の幅を広げる。 未経験のことに取り組み、経験の幅を広げる。 			余暇を有意義に過ごす力を身に付ける <ul style="list-style-type: none"> 休み時間に友達や教員と趣味の話をする。 			

キャリア教育・進路指導のおさえ（Ⅱ類型①） 12年間のあゆみ

キャリア教育のおさえ：①挨拶、返事、報告を自分から率先して行う ②身辺自立を持っている力でできる範囲で訓練し、確実性を上げる ③長時間の作業に耐えうる体力と集中力がある
 (進路指導も含む) ④様々な体験をして経験値を積み、慣れない場所で過ごす ⑤自分でできることとできないことを理解して行動する ⑦困ったことを近くの支援者に伝える(自分から他者へ要求する)

令和6年 3月改訂
 静岡県立西部特別支援学校

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3			
キャリア教育	進路指導(家庭)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事業所見学 ・学校や家庭以外で外部の人と触れ合う機会を持つ(放デイなど) ・家族の支援体制の確認(利用できる資源の確認) ・学校との連携(進路相談、質問等) 卒業後の生活について考える(家庭で話し合って進路希望調査カードの記入をする) 							【卒業後の進路先】 ・高等部進学 →本人の実態に合った類型選択 ・福祉施設利用→相談支援事業所と連携し、利用先を具体的に決める			<ul style="list-style-type: none"> サービス利用と家庭生活が成立するか確認 産業現場等における実習 具体的な進路先の選定 相談支援事業所との連携 				
	健康	生活のリズムを作り、健康な体づくりに努める ・早寝早起き習慣を身に付ける。 ・規則正しい食習慣を確立する。							自分の健康管理に努める ・自分の体調を教師に伝える。 ・自分で服薬や塗り薬を塗布する。			自己の健康管理と保持増進に努める ・体調を整えて毎日登校する。				
	学習	学習習慣を身に付ける ・言葉や数の基礎的な力を身に付ける。 ・繰り返しの学習で身に付けたことを、日常生活や生活単元学習などの授業で活用する。							主体的に学習に取り組み、基礎学力を身に付ける ・苦手な課題でも取り組む。 ・語彙を増やし、伝えたいことを表現する。						・自分から積極的に発表や活動に取り組む。 ・簡潔な言葉の指示を理解して行動する。	
	障害理解	障害を理解する。(自分のからだを知る) ・粗大運動や微細運動をすることで自分ができると、好きことを知る。							障害を受容する(できること・できないことを知る) ・支援の依頼の方法や表現を身に付ける。 ・気持ちを安定させる方法があり、日常で活用する。			自己理解をした上で、自分の生き方について考える力を養う ・自分でできることを増やし、できないことは教師に依頼する。 ・自分でできることとできないことを理解している。				
	生活習慣	基本的な生活習慣の確立を図る ・身の回りのことでできそうなことに挑戦する。 ・様々なことに挑戦し、できることを増やす。							基本的な生活習慣の定着を図る ・自分から挨拶をしたり、返したりする。 ・教師の言葉掛けで次の活動に移る。			生活習慣の定着及び社会生活に必要な力を身に付ける ・食事、着替え、排せつが自分でできる。 ・時間を守って行動する。				
	コミュニケーション	自分を表現する力やコミュニケーション力を習得する ・言葉やサインで挨拶に応じたり、自分から挨拶をしたりする。 ・物を介して教師や友達とかかわる。							コミュニケーションの幅を広げ、友達と協力して活動する力を身に付ける ・やるべきことや指示を受け入れる。 ・自分から友達に関わったり意見を言ったりする。			場に応じてコミュニケーションする力を身に付ける ・友達との会話を楽しむ。 ・正しい言葉遣いで話す。(TPOに合わせる)				
	自主性	積極的に物事に取り組む力を身に付ける ・活動に見通しをもち、自分から取り組むことができる。							自主性、問題解決能力を身に付ける ・欲しいものを選んだりやりたいことを他者に伝える。 ・困ったときに支援者を呼ぶ。			自己決定力、自己選択力、問題解決能力を身に付ける ・自発的に係や活動担当を引き受ける。 ・困ったときに教師に相談する。				
	役割はたらくこと	家庭での手伝いや、学校での当番活動を行う ・家や学校で自分の役割が分かり、家族や教師と一緒に取り組む。 ・朝の会、帰りの会で司会など自分の役割を果たす。							自分の役割を果たすとともに、様々な職業があることを理解する ・自分の役割(係活動など)を果たす。 ・準備や片付けを自分から行う。			自分の役割を果たすとともに、職業及び働くことの意義を理解する ・決められた係や活動を進んで毎日行う。 ・作業学習で担当工程に時間いっぱい取り組む。				
	楽しみ(趣味)	好きなことを見つける ・自分の好きなことで昼休みや余暇を過ごす。							好きなことを増やし、興味関心の幅を広げる ・興味のあることに自分から挑戦する。 ・興味のあることについてやり方や操作が分かる。			余暇を有意義に過ごす力を身に付ける ・自宅や放デイで楽しみな活動や好きな活動がある。 ・昼休みに楽しく過ごせる術がある。				

キャリア教育・進路指導のおさえ（Ⅱ類型②） 12年間のあゆみ

キャリア教育のおさえ：①挨拶、返事、報告を自分から率先して行う ②自分なりのコミュニケーション手段を獲得する ③身辺自立を持っている力のできる範囲で訓練する
 (進路指導も含む) ④様々な体験から動作や表現を獲得する ⑤困ったことを近くの支援者に伝える(自分から他者へ要求する) ⑥得意なことに繰り返し取り組み、確実性を向上する

令和6年 3月改訂
 静岡県立西部特別支援学校

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3		
キャリア教育	進路指導(家庭)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事業所見学 ・学校や家庭以外で外部の人と触れ合う機会を持つ(放デイなど) ・家族の支援体制の確認(利用できる資源の確認) ・学校との連携(進路相談、質問等) 卒業後の生活について考える(家庭で話し合って進路希望調査カードの記入をする) 							【卒業後の進路先】 ・高等部進学 →本人の実態に合った類型選択 ・福祉施設利用→相談支援事業所と連携し利用先を具体的に決める			<ul style="list-style-type: none"> サービス利用と家庭生活が成立するか確認 産業現場等における実習 具体的な進路先の選定 相談支援事業所との連携 			
	健康	生活のリズムを作り、健康な体づくりに努める ・早寝早起き習慣を身に付ける。 ・規則正しい食習慣を確立する。							自分の健康管理に努める ・自分で体の力を抜く方法を身に付ける。 ・休まず登校する。			自己の健康管理と保持増進に努める ・体調を整えて毎日登校する。 ・早寝早起き、規則正しい食事を行う。			
	学習	学習習慣を身に付ける ・指差しや簡単な言葉、サインでコミュニケーションをとって学習に取り組む。							主体的に学習に取り組み、基礎学力を身に付ける ・繰り返しの学習で見通しをもち、自発的に活動する。 ・自分でやりたい活動を選択する。 ・最後まで活動に取り組む。						・興味関心のあることをきっかけに学習を進める。 ・繰り返しの学習でやり方を覚えて一人で活動に取り組む。
	障害理解	障害を理解する。(自分のからだを知る) ・教師と一緒に体を緩めたり動かしたりすることで自分のからだの感覚に気付く。							障害を受容する(できること・できないことを知る) ・できないことは教師に依頼する。			自己理解をした上で、自分の生き方について考える力を養う ・できることを継続的に取り組み、確実性を上げる。 ・視線入力装置など「これがあればできる」ツールを見つける。			
	生活習慣	基本的な生活習慣の確立を図る ・身の回りのことのできそうなことに挑戦する。							基本的な生活習慣の定着を図る ・排せつした(したい)ことを教師に伝える。 ・いろいろな人と食事を摂ることができる。			生活習慣の定着及び社会生活に必要な力を身に付ける ・ショートステイ等を利用し、慣れない環境でも過ごす。 ・日課に沿って行動する。			
	コミュニケーション	自分を表現する力やコミュニケーション力を習得する ・言葉やサインで挨拶に応じる。 ・物を介して教師や友達と関わる。							コミュニケーションの幅を広げ、友達と協力して活動する力を身に付ける ・名前を呼ばれて返事をしたり、質問に反応したりする。 ・教師の働きかけに応じたり、友達と一緒に活動したりする。			場に応じてコミュニケーションする力を身に付ける ・自分から挨拶、返事をする。 ・困ったら近くの教師に自分なりの方法で合図する。			
	自主性	積極的に物事に取り組む力を身に付ける ・やること分かり、自分から取り組んだり友達の様子を見て取り組む。							自主性、問題解決能力を身に付ける ・困ったときに教師に働きかけをする。 ・欲しいものに手を伸ばしたりやりたいことを他者に伝える。			自己決定力、自己選択力、問題解決能力を身に付ける ・行事での司会など、できそうなものに率先して取り組む。 ・任された活動を最後まで取り組む。			
	役割はたらくこと	家庭での手伝いや、学校での当番活動を行う ・家や学校で自分の役割が分かり、家族や教師と一緒に取り組む。							自分の役割を果たすとともに、様々な職業があることを理解する ・教師と一緒に毎日係活動に取り組む。			自分の役割を果たすとともに、職業及び働くことの意義を理解する ・自分の役割を最後まで取り組む。 ・自分の役割が分かり、主体的に取り組む。			
	楽しみ(趣味)	好きなことを見つける ・好きなことに取り組んだり、友達の様子を見て楽しんだりする。 ・様々な経験(聞く、触れる、見るを含む)を通して好きな事(玩具、絵本、楽器など)を見つける。							好きなことを増やし、興味関心の幅を広げる ・様々な本や音楽などの余暇的なものを楽しめる。 ・楽しめるものの種類を増やす。			余暇を有意義に過ごす力を身に付ける ・自分の楽しむことで空き時間、余暇を過ごす。 ・個人と集団どちらでも楽しんで活動できる。			

キャリア教育・進路指導のおさえ（Ⅲ類型 12年間のあゆみ）

キャリア教育のおさえ：①いつでも、どこでも、だれとでも活動ができる → 進路選択の幅を広げる
 (進路指導も含む) ②活動内容に幅を持たせて実体験を広げることで、豊かな社会生活を送る → 多くの体験から自分の好きなことを見つけ、余暇を楽しむ

令和6年 3月改訂
 静岡県立西部特別支援学校

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
キャリア教育	進路指導(家庭)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事業所見学 ・学校や家庭以外で外部の人と触れ合う機会を持つ(放デイなど) ・家族の支援体制の確認(利用できる資源の確認) ・学校との連携(進路相談、質問等) 卒業後の生活について考える(家庭で話し合って進路希望調査カードの記入をする) 						【卒業後の進路先】 ・高等部進学 → 本人の実態に合った類型選択 ・福祉施設利用 → 相談支援事業所と連携し利用先を具体的に決める			<ul style="list-style-type: none"> サービス利用と家庭生活が成立するか確認 産業現場等における実習 具体的な進路先の選定 相談支援事業所との連携 			
	健康	【・早寝早起き ・規則正しい食習慣 ・毎日登校する ・睡眠リズムを整える】 → 基本的な生活習慣の確立						【・触られた部位の力を抜ける ・自分で楽な姿勢を取れる】 → 自分の体の						
		<ul style="list-style-type: none"> 学校で行っている活動で、取り組めるものがあれば家庭で取り組む。 睡眠リズムを整える。 ・教師と一緒に活動したりいろいろな姿勢を取ったりする。 						<ul style="list-style-type: none"> 介助者と一緒に体を動かす。 十分な睡眠と栄養補給を行い、体調を整える。 			<ul style="list-style-type: none"> 触れられた部位の力を抜く。 自分で楽な姿勢を取る。 			
	学習	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し取り組み、活動に見通しを持つ ・視線を送ったり手を動かしたり獲得した動作の確実性を上げる ・自発的に行動し、自分の気持ちを相手に伝える 												
		<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しの活動で学習の始まりや終わりが分かり、見通しを持ったり期待感を持ったりする。 						<ul style="list-style-type: none"> 興味があるものを目で追ったり手を伸ばしたりする。 自分の方法で気持ちを表現する。 			<ul style="list-style-type: none"> 生活単元学習で自発的に活動する。 繰り返しの活動に取り組む。 			
	障害理解	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことやものを増やす ・協力動作をするなど、支援を素直に受け入れる ・医療、福祉、行政と連絡を密にして情報共有を確実にする 												
		<ul style="list-style-type: none"> 自分の体に働き掛けられていることに気付いたり自分の体の動きに気付いたりする。 						<ul style="list-style-type: none"> 自発的に体を動かして意思表示する。 自分でできることは自分で取り組む。 			<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所とサービス利用の状況を共有する。 他類型の職員とふれ合う。 			
	生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 場所や支援者が変わっても落ち着いて過ごす ・一人で過ごせる術がある ・排せつや食事について支援者が変わっても一緒に行く ・規則正しい生活習慣を身に付ける 												
		<ul style="list-style-type: none"> 学校で過ごすことに慣れ、安定した気持ちで生活する。 経験したことがあることや理解している活動に取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 食事、水分補給など自分でできるところは自分で行う。 教師からの挨拶に対して自分なりの表現方法で返す。 			<ul style="list-style-type: none"> 場所や支援者が変わっても落ち着いて過ごす。 排せつや食事を様々な教師と一緒にやる。 			
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの表現方法で相手に気持ちを伝える ・教師の働き掛けに対し、自分なりの表現で表出する ・落ち着いて活動場所で過ごす 													
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な教師の関わりに気付いたり快、不快や期待や要求を伝えたりする。 周囲にいる友達の様子を見たり声を聞いたりして興味を持ち、活動する。 						<ul style="list-style-type: none"> 体への働きかけを通して人と関わる。 教師からの働きかけに何らかの形で応える。 			<ul style="list-style-type: none"> 自分で手を伸ばしてものに触れる。 教師が提示した物を自分で選ぶ。 				
自主性	<ul style="list-style-type: none"> 自分で手を伸ばして物に触れる ・教師が提示した物を自分で選ぶ(手を伸ばす、視線等) ・好きなもの、嫌いなものを表現して伝える 													
	<ul style="list-style-type: none"> 提示された物に注意を向けたり、繰り返しの取り組みで今行っている活動が分かって行動したりする。 好きな物に手を伸ばしたり、好きな活動で笑顔になったりする。 						<ul style="list-style-type: none"> 快、不快の気持ちを何らかの方法で表出する。 視線や手を伸ばして課題に取り組む。 			<ul style="list-style-type: none"> 係活動を教師と一緒にやる。 自分なりの表出方法で挨拶する。 				
役割はたらくこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることを増やす ・係活動を教師と一緒にやる(いろいろな人とのふれ合い) ・その場にいる人と活動を一緒に楽しむ ・自分なりの表現で挨拶する 													
	<ul style="list-style-type: none"> 継続して取り組めそうなことを学校活動や家庭で取り組む。 教師と一緒に簡単な役割の活動を行う。 ・自分に必要な支援をいろいろな場面で受け入れる。 						<ul style="list-style-type: none"> 他類型の教師とも一緒に活動を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> 他類型の教師とも一緒に活動を行う。 その場にいる人と活動を一緒に楽しむ。 				
楽しみ(趣味)	<ul style="list-style-type: none"> 好きなもの(こと)がある ・いつでも、どこでも、だれとでも過ごす ・学校・家庭以外の場で、いろいろな人と触れ合う機会がある(放デイ、ショートステイなど) 													
	<ul style="list-style-type: none"> 様々な経験(聞く、触れる、見るを含む)を通して好きな事(玩具、絵本、楽器など)を見つける。 好きな物やことを励みに取り組める活動を増やす。 						<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り外出をし、実体験を広げる。 様々な本を読んだり、音楽を聴いたりして過ごす。 			<ul style="list-style-type: none"> ショートステイや居宅介護について知ったり体験したりする。 好きな物があり、自発的に取り組む。 				

キャリア教育・進路指導のおさえ（訪問教育 12年間のあゆみ）

キャリア教育のおさえ：① 感じたこと、気持ち、要求を、自分なりの方法であらわす、伝える。 → 人との関わりやコミュニケーションの力をつけていくことで、生活を豊かにする。
 (進路指導も含む) ② 様々な体験をすることで、活動の幅を広げる。 → 多くの体験の中から、自分の好きなことを見つけ、余暇につなげる。

令和6年 3月改訂
 静岡県立西部特別支援学校

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
キャリア教育	進路指導 (家庭) (施設)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事業所の情報を集める 学校や家庭以外で外部の人と触れ合う機会を持つ(放デイなど) 家族の支援体制の確認(利用できる資源の確認) 学校との連携(進路相談、質問等) 今できること、これからできること(できそうなこと)を考え、次につなげる 						【卒業後の進路先】 ・高等部進学→本人の実態に合った進路先の選択 ・福祉施設利用→相談支援事業所と連携し 利用先を具体的に決める			<ul style="list-style-type: none"> サービス利用と家庭生活が成立するか確認 卒業後の具体的な生活を考える 相談支援事業所との連携 			
	健康	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒に体を動かす 自分なりに体を動かして活動する 体の不調や不快を自分なりの方法であらわす ふれあいリラックス体操やストレッチなどを教師と一緒に行う 触れられることに慣れ、体の力を緩める 												
	学習	<ul style="list-style-type: none"> 教師の働き掛けを受け入れる 教師の働き掛けに気付き主体的に活動しようとする 体操など、繰り返し行っている活動が分かる 活動が分かり期待感を持つ 名前を呼ばれたら自分なりの方法で返事をする 活動内容や関わる教師が変わっても、自分なりの動きや方法で活動する 繰り返しの中で活動が分かる、始まりと終わりが分かる 興味のある物に注意を向ける、手を伸ばそうとする 主体的に活動に参加する 												
	障害理解	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体に気付く、知る 働き掛けを受け入れる 自分の好きなことを見つける、増やす 働き掛けに気付き、自分の体に気付く 動かせるところを知り、主体的に動かす 様々な活動の中から好きなことを見つける 												
	生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整え、教師と一緒に活動に取り組む 働き掛けを受け入れ、覚醒状態を高める 働き掛けを受け入れ、教師と一緒に様々な活動に取り組む 												
	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 自分が感じたことや気持ちを自分なりの方法であらわす 教師や身近な人の働き掛けに応じて、自分の気持ちをあらわす 教師からの働き掛けに気付く 周りの物や人に興味を向ける 自分なりの方法で快不快、感じたこと、気持ち、要求をあらわしたり伝えたりする 												
	自主性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動に教師と一緒に取り組む 好きな活動を見つける やりたい活動を選び、教師に伝える 自分なりの方法で活動に取り組む 教師や教材に注意を向けたり、繰り返しの取り組みで今行っている活動が分かって行動したりする 興味のある物に注意を向けたり手を伸ばしたりする 好きな活動に集中して取り組む 												
	役割はたらくこと	<ul style="list-style-type: none"> 誰にでも、自分なりの方法で周囲に働き掛ける 学校以外の時間も落ち着いて健やかに過ごす 働き掛けを受け入れ、誰にでも落ち着いて活動に取り組む 自分なりの方法で快不快、感じたこと、気持ち、要求をあらわしたり伝えたりする 												
	楽しみ(趣味)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な素材、音楽、絵本などで体験的な活動をする 活動の中から好きな物や活動を見つける、増やす 好きな物や活動を関わる人に伝える 様々な経験をする中で、好きなこと、得意なことを見つける、増やす 音楽や絵本など好きなことを増やし、余暇の時間に活かす 												